

お天気解説

アキラのズバッと

東京地方の気候変動シリーズ

“Now & Then”

震災と天気

令和6年3月8日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

早いもので、東日本大震災から13年が経とうとしています。3月11日、まだ寒さが残る金曜日の午後には大規模な揺れと大津波が襲ってきたことは忘れられない出来事です。

あの日、地震が発生した直後、アメダスの入電が途絶え、東北地方の詳しい気象状況が分からなくなってしまいました。大津波に襲われた東北3県では曇りか雪の降る天気だったことが知られています。もし、雪が降る中で大地震が起きた場合、先が見えない、路面凍結、深い積雪などにより避難に時間が余計にかかってしまいます。また、湿った雪は家屋倒壊や低体温症のリスクを高めま

684年11月29日	M8.3
887年8月26日	M8.3
1096年12月11日	M8~8.5
1099年2月22日	M8.2
1361年8月3日	M8.4
1498年9月20日	M8.3
1707年10月28日	M8.6
1854年12月23日	M8.4
1854年12月24日	M8.4
1944年12月7日	M7.9
1946年12月21日	M8.0

表：過去の南海トラフ地震発生日とマグニチュード(M)

南海トラフ地震は東京でも大きな被害が懸念されていますが、発生年月日について調べると(表 1605年2月3日のM7.9の地震は南海トラフ地震ではない可能性もあるので表から外しています)、けっこう秋から冬にかけての発生が目立ちます。南海トラフ地震発生に季節性があるのかは分かりませんが、江戸時代の関東地方での大震災となった「元禄地震」(1703年 M8.2)は12月31日、江戸の直下型で下町が大火となった「安政江戸地震」(1855年 M6.9)は11



安政江戸地震当時描かれた「鯨絵」

月11日で、どちらもこの期間に発生しています。関東地方では地震と雪が重なることはほとんどないかもしれませんが、秋から冬にかけて関東平野に吹く強風と空気の乾燥は、地震時の火災発生には危ない要素です。

今回は、「桜の満開は」というタイトルで話題を提供します。(江戸川区の桜開花は26日頃かと考えています。)

2024年03月08日11時 気象庁 発表

日付	今日 08日(金)	明日 09日(土)	明後日 10日(日)
東京地方	曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/20/20	10/10/10/10	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	11	13
	最低	-	2
			12 (10~13)
			3 (1~4)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は朝の冷え込みが強そうです)